

ラインホルド クレイマー

プリンシパル, シカゴ

rkrammer@masudafunai.com

312.245.7500

シカゴ

203 N. LaSalle Street

Suite 1700

Chicago, IL 60601

クレイマー弁護士は、多国籍企業、その米国子会社、外国政府の通商代表機関および国内企業を代理している。外国企業が米国市場に進出し、事業を展開しながら、海外の親会社と共に米国の企業利益を保護できるようにアドバイスする。迅速に、そして確実に問題解決に当たるクレイマー弁護士は、常に質の高いリーガル・アドバイスを提供することで定評を得ている。

主要業務は、国際商取引、ビジネス訴訟と紛争解決、知財、技術・製品開発、供給、ライセンスまたは流通販売に関する契約交渉と契約書の作成、アメリカ市場に進出する会社のコンサルティング、債権回収問題、担保物件の回収、および財政難や倒産に直面する顧客と取引を行う会社の保護である。イリノイ州、ミシガン州、ニューヨーク州、デラウェア州、カリフォルニア州、アリゾナ州、フロリダ州など米国だけではなく、外国（フランスなど）でも、特別代理人として、訴訟、仲裁および調停手続でクライアントを代理した経験がある。高いリスクを伴う紛争の解決に努める場合でも、または契約交渉を行う場合でも、クレイマー弁護士は、クライアントがそのビジネス活動に専念できるように、依頼された法務事項を効率よく、的確に処理することでクライアントの期待と信頼に込めている。

公認会計士の資格も持つクレイマー弁護士の業績は、**Leading Lawyers' Network**誌でも、国際ビジネス・商事法および商事訴訟分野の一流弁護士「**Leading Lawyer**」として評価されている。さらに、ドイツ語が堪能なクレイマー弁護士は、オーストリア共和国の名誉領事に任命されており、イリノイ州、アイオワ州およびウィスコンシン州を管轄区域としてその任務に当たっている。これまで取り扱ってきた業界は非常に広範囲で、自動車／部品供給、バイオ医薬品、建築／消費者製品、電子機器／半導体、エネルギー、設備リース／ファイナンス、食品



Education

ディポール大学ロー・スクール卒業,
J.D., 1993; Editor Law Review

イリノイ大学卒業, B.S., with honors,
1988

Admissions

イリノイ州弁護士資格

ミシガン州弁護士資格

連邦地方裁判所イリノイ州中部地区活動
資格

連邦地方裁判所イリノイ州南部地区活動
資格

連邦地方裁判所イリノイ州北部地区活動
資格

連邦地方裁判所ミシガン州東部地区活動
資格

連邦地方裁判所ミズーリ州東部地区活動
資格

連邦地方裁判所オハイオ州北部地区活動
資格

連邦地方裁判所テキサス州東部地区活動
資格

連邦地方裁判所ウィスコンシン州西部地
区活動資格

製造／流通、ハイテク、機械／設備、小売、流通、販売／サービス、輸送、倉庫などが含まれる。かかる業界における、国内外の各種商取引を支援している。

フィランソロピー評議会「Chicago Council on Global Affairs」のPresident's Circle Memberであるクレイマー弁護士は、「International Trade Club of Chicago」および「Austria America Foundation, Inc.」の役員／理事、ならびに「American Friends of Austria」および「German International School of Chicago」の名誉役員も務めている。また、外国直接投資や輸入関連活動に携わっている国際貿易団体および政府の貿易機関を対象に、商事訴訟、米国への進出と事業の展開、国際商取引等のテーマで、頻繁に講演や著作活動を行っている。

Experience

- 設備サプライヤーが契約違反を理由に購入者を訴えた際に代理し、サプライヤーのために180万ドルの損害賠償金を獲得した。
- 開発契約違反に対する請求において、レンズ・光設計者／製造業者を代理し、カメラ・レンズ製造業者／販売業者を訴えた。ニューヨーク州ニューヨーク市の仲裁裁判所で行われた審理で、相手方当事者による反訴請求においてもクライアントを防御した結果、仲裁委員会は、クライアントに対する390万ドルの損害賠償の支払を認める判断を下した。同賠償金は全額支払われた。
- フラッキング（水圧破砕）業界で使用される水浄化装置の製造会社を代理し、フランス（パリ）の国際商業会議所の国際仲裁裁判所で、ライセンス契約違反問題を解決した。
- フォーチュン500社が、設計上の不具合および製造過程の欠陥を理由にガラス彫刻・切断機のサプライヤーを訴えた際に、サプライヤーを代理した。サプライヤーは設備代金を返済することなく、購入者も機械設備を保持したままで本件は終了した。
- 包括供給契約の不当解約を原因とする紛争で、ティア2自動車サプライヤーを代理し、上場企業のティア1サプライヤーから数百万ドルに及ぶNRE経費と資本支出金を回収することに成功した。本件は首尾よく解決したため、両当事者はその後も取引関係を継続させることができた。
- 破産手続きで、310万ドルの偏頗弁済の請求を受けたティア2自動車サプライヤー（被告）を代理した。当初、被告には懈怠行為があったという判決が下され、請求額の支払が命じられていた。最終的に、かかる懈怠判決は覆され、原告は本件に関する全申立てを取り下げ、被告は請求金額を一切支払うことなく、勝訴した。
- 室内・屋外用電動工具の製造業者が、設計、製造および警

Practice Areas

訴訟

商事／競争／取引

知的財産テクノロジー

Languages

英語

ドイツ語

告表示に関する欠陥を理由に提訴された際に防御し、和解に導いた。

- クライアントが、そのサプライヤーや顧客から多額な未払金を回収する際に代理した。サプライヤーおよび顧客は、それぞれの破産や財政難を理由に総額百万ドルを超える支払を怠っていたため紛争が生じたが、クライアントに有利な条件で和解に導き、本件を解決した。
- ティア1サプライヤーの施設で子供が鉛害の被害にあったとして、その親が同サプライヤーを訴えた事件でサプライヤーを防御し、本件の棄却に成功した。
- 上場製造会社の産業掘削機製品を転売した業者が、当該製造会社に対して、経済的損失も含む損害賠償請求をした際に、同製造会社を防御した。
- 自動車部品のサプライヤーを代理した。部品の購入者は、サプライヤーに対して数百万ドルの支払義務を負っていたが、同部品に欠陥があったと主張していた。サプライヤーに有利な条件で和解へ導き、最終的に、購入者は主張を撤回し、代金を金額支払った。
- クライアントが商標侵害者に対して訴訟を提起した際に代理した。その結果、本件商標の使用は中止され、侵害者の責任が認められた。
- 海洋ディーゼル・エンジンの供給業者に対して提起された訴訟事件で同業者を代理した。契約違反、保証義務違反および詐欺を理由とする、数百万ドルの填補賠償および懲罰的損害賠償の請求に対して、供給業者を防御し、有利な条件で和解に導いた。
- 信用状および手形支払書類に基づく複雑な国際取引に関し、破産管財人が300万ドル相当の偏頗行為を主張した案件で、被告である印刷機製造会社を代理し、仲裁手続を利用して同社に有利な和解を成立させた。さらに、取引時に相手方が債務超過状態でなかったことを主張するとともに、偏頗行為に対する抗弁として、当該取引が債務発生と同時に行われたこと、新規の価値に対する取引であること、および日常的な取引行為であったことを主張した。
- 正式事実審理において、資材運搬袋の購入者をサプライヤーから防御し、有利な解決に導いた。係争の対象となる資材運搬袋が欠陥製品であったことを事実認定者に納得させ、サプライヤーによる請求を棄却させた。
- 私的整理および破産手続きにおいて、破産会社の主要なサプライヤーかつ顧客である債権者を代理した。当該案件は、債権者が保証およびDIPファイナンス（再建企業向け融資）を部分的に提供した案件であった。
- ケンタッキーの飛行機墜落事故に関する案件で、クレジット・カードの保険契約に基づき代位権を主張した保険会社

から、故人のために190万ドルの支払を勝ち取った。

- リコール問題に関する処理について、米国消費者製品安全委員会における審理でポンプ製造会社を代理した。
- 設備リースで担保に供された印刷圧縮機を、賃貸人のために取り戻した。最終的に、賃借人は設備を賃貸人に返却し、賃貸人に多額な支払をすることに同意し、設計と製造の欠陥の主張を放棄することで和解した。
- シカゴの連邦裁判所で、プラスチック容器製造業者がカナダの相手方当事者（被告）に反訴された際に代理し、有利な解決に導いた。同被告からプラスチック注射器型を迅速に回収し、同被告に一切支払うことなく、かかる反訴を退けることに成功した。
- 従業員の公金横領により多額の損害を被った雇用主を代理し、有利な解決に導いた。従業員の資産を差し押さえ、従業員から全額の賠償金を獲得した。
- カリフォルニア州を拠点とする企業を相手に、損害賠償請求を行った機器サプライヤーを代理し、約18.3億ドルの損害賠償金を獲得した。
- ドイツを拠点とする精密機器グローバル・メーカーがイリノイ州北部の競合会社に、特許侵害を理由に提訴された際に代理した。
- 韓国のティア1自動車サプライヤーの米国子会社が、そのティア2請負業者から仲裁申立てを受けた際に代理し、仲裁手続でかかる請負業者の請求をすべて棄却させることに成功した。
- 米国によるメキシコに対するメキシコ産鉄鋼の輸入制限が適用されるとの主張、部品供給の履行遅滞および数量不足ならびに多額の緊急輸送費用の3点が主な争点となった部品供給紛争において、ティア1の自動車部品サプライヤーのために有利な解決を獲得した。ディスカバリー手続き、略式判決に関する書面提出および公判準備を通じて、クライアントにとって有利な立場を築き、最終的な和解においてクライアントの契約に基づく相殺に関する主張の大部分を維持できる結果を達成した。
- Secured a seven-figure settlement for a Europe-based client's North American subsidiary in an arbitration against an OEM, overcoming the OEM's full denial of liability and nominal settlement offer and leveraging targeted discovery and depositions to strengthen breach-of-contract and Michigan silent fraud claims.

Memberships

- Austria America Foundation, Inc. - Honorary Director
 - Chicago Council on Global Affairs - President's Circle
-

- German International School of Chicago - Honorary Director
 - International Trade Club of Chicago - Former Director
 - アメリカ法曹協会
 - イリノイ州弁護士会
 - シカゴ弁護士会
-

Distinctions

- 「Leading Lawyers」 2015年度～2026年度
- 「Thomson Reuters Stand Out Lawyers」 2023年度～2026年度
- Legal 500 Chicago Elite – Commercial Disputes
- The American Jurisprudence Prize in Torts（不法行為に関するアメリカ法学賞）